

日本機械学会 第23回バイオエンジニアリング講演会

公開シンポジウム 平成23年1月8日14時45分から17時30分

テーマ「利用者視点からの福祉用具開発-生活の「快」をサポートする-」

コーディネーター

豊田 謙二

(熊本学園大学社会福祉学部教授・特定非営利活動法人NPO福祉用具ネット理事長)

社会環境のバリアフリー化と福祉用具の活用、この整備やサービスで障害のある人は町に外出できる。出かける場を創ることは、居宅において居場所を創ることともに、とても重要な生活支援である。本 NPO 福祉用具ネットは、バリアフリー化提起も得意分野であるが、私たちの福祉用具研究会での福祉用具に関する事例研究の蓄積が、用具の企画・開発での大きな力になっている。本シンポジウムでは、利用者の「快」に通ずる「もの」づくりの実践を報告したい。

シンポジスト

開発者の立場

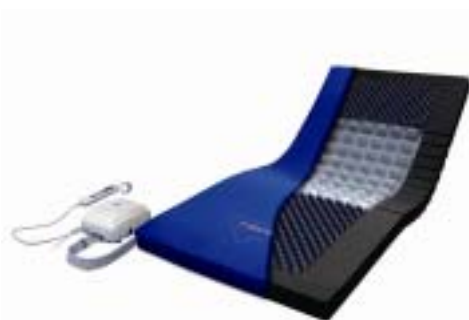
坂田 栄二 (九州日立マクセル(株)開発本部 技師長

特定非営利活動法人NPO福祉用具ネット副理事長)

床ずれ防止マットは大きく「静止型」と「圧切替型」に分類される。各々に長所短所があり、床ずれの発生リスクアセスメントを行い、ステージに応じて選定することになる。また、介護保険制度では自立支援が大きなテーマであり多くの要介護者は車いすでの座位姿勢で長時間過ごすことが日常的な生活パターンとなっており、車いす用クッション(ミニマット)が重要な要素となる。

また、寝たきりのようなリスクの高い要介護者では、ベッド上が 24 時間の生活の場となる。このような床ずれを防止する 1 つの手段としてのクッションやマットのコンセプトは、自立支援を基礎視点としながら、「床ずれ防止機能と快適性」に焦点を合わせた共通技術を開発し、利用者の「快」と介護者の「快」を製品に持ち込むことにした。

「床ずれ防止エアーマット」を事例として、その構想からコンセプトづくり、そして製品化までのプロセスを紹介する。



【写真】床ずれ防止ハイブリッドエアマット P・Wave

開発者の立場

田中 哲也 (ユニ・チャームヒューマンケア(株)セールスエンジニアリング部マネージャー)

高齢者の尿失禁対策として「大人用紙おむつ」が広く利用されているが、紙おむつは頻繁に交換(通常 5~7 回/日)をしないと「不快感」や「スキントラブル」の問題が発生しやすい。しかし、多頻度の交換は介護負担が大きく、特に「夜間」の交換は「睡眠不足」の問題が大きい。このような利用者の「快」と介護者の「負担」という相反する課題を解決する新しい福祉用具として「尿吸引ロボ ヒューマニー」を開発した。

「ヒューマニー」はユニ・チャーム(株)と(株)日立製作所が共同で開発し 2009 年に発売した「使い捨て紙おむつ」と「自動採尿器(尿をポンプで自動吸引する尿器)」の各々の利点を両立した全く新しい排泄ケア製品である。開発にはトータル8年を要したが、この開発過程を振り返り、以下の視点から「福祉用具開発」の一端を紹介させて頂きたい。

異業種コラボレーションの可能性 「紙おむつメーカー」と「電機メーカー」の共同開発
多様な現場からのメッセージ 「利用者(被介護者)」と「介護者」、「施設」と「在宅」
福祉用具開発の道のり 製品化されて発売した瞬間に次の開発がスタートする



【写真】尿吸引ロボ ヒューマニー (左:採尿器本体 右:使い捨て尿吸引パッド)

ユーザーの立場

大山 美智江(特定非営利活動法人NPO福祉用具ネット事務局長)

(看護師・福祉用具プランナー・ケアマネージャー)

福祉用具は、自立支援や介護者負担の軽減のためには大変重要である。しかし、介護や看護の視点で既存の福祉用具を検証してみると、さまざまな問題点が見えてくる。本 NPO 福祉用具ネットでは、既存の用具を利用者視点から検証しつつ、その研究の蓄積のもとで福祉用具の企画・開発に参加してきた。

この福祉用具の利用者というのは、用具による直接利便性を求める利用者、介護において福祉用具をケアの向上のために利用する人である。利用する人のねらい、介護する人の条件、またどこで利用したいのか、そうしたさまざまな諸条件のなかで、福祉用具は選ばれ活用されている。

使いやすさや購入・レンタル価格も利用には影響を与える。私たちはもう一つの用具の企画・開発での目的を忘れないようにしたい。それは「快」である。障害のある人は生きている。生命が維持できているだけではない。言語があり、活動があり、そして生活の「快」がある。私たちの仕事を振り返りつつ、その活動を報告したい。

シンポジウムのようす



コーディネーター 豊田謙二 理事長 (熊本学園大学教授)
アドバイザー 経済産業省商務情報政策局医療・福祉機器産業室 室長
竹上嗣郎様

